

厚生労働省難治性疾患政策研究事業
難治性膵疾患に関する調査研究班
遺伝性膵炎・家族性膵炎・若年性膵炎に関する全国疫学調査
二次調査ご協力のお願い

〇〇大学大学院 〇〇内科
〇〇 〇〇先生御侍史

謹啓

時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、過日は「遺伝性膵炎・家族性膵炎・若年性膵炎に関する全国疫学調査（一次調査）」にご回答をいただき、誠にありがとうございました。貴科の一次調査ご回答内容は以下の通りです。

遺伝性膵炎		家族性膵炎	
男性	女性	男性	女性

※2005年1月から2014年11月まで、貴科受診歴のある遺伝性膵炎・家族性膵炎の患者数（男女別）

つきましては、先にもお願い致しておりましたように、二次調査へのご協力をお願い申し上げます。ご多用の折、大変恐れ入りますが、同封の二次調査票にご記入の上、返信用封筒にて2015年11月20日までにご返送いただきますようお願い申し上げます。

お手数とは存じますが、調査票は症例数に応じてコピーしてご利用いただけますでしょうか。

なお、調査票への記入につきましてご不明な点は、メールまたはお電話を頂ければ幸いに存じます。

ご多用中、誠に申し訳ございませんが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、先生ならびに貴科の益々のご活躍・ご発展をお祈り申し上げます。

謹白

難治性膵疾患に関する調査研究班

研究代表者：竹山 宜典（近畿大学医学部外科 肝胆膵部門）

研究分担者（本調査の担当）：正宗 淳（東北大学大学院消化器病態学分野）

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL:022-717-7171 FAX:022-717-7171

e-mail: amasamune@med.tohoku.ac.jp

症例調査票

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

症例仮番号： _____ (症例を特定できないように連結可能匿名化し、作成をお願いします)

(A) 御施設名： _____ 記載者御氏名 _____

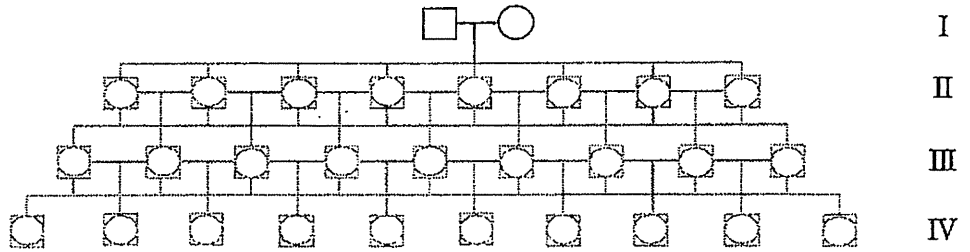
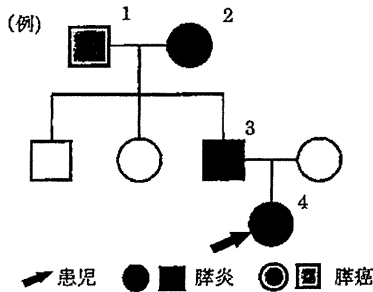
(B) 飲酒歴 なし あり (ありの場合、期間と種類、量： _____)

喫煙歴 なし あり (ありの場合、期間と種類、量： _____)

性別： 男 女 生年月 _____ 年 _____ 月 身長 _____ cm 体重 _____ kg (_____ 年 _____ 月現在)
 出生県 _____ これまでにかかっていた病院、診療所名 _____

家族歴 (_____ 人 / _____ 人) (膵疾患の患者数/家族全体の人数)

家系図 (お子さんの情報 (膵炎の有無) もお願いします)



番号	生まれ年	膵炎の成因、初発年齢、膵癌の有無

診断： 遺伝性膵炎

- 家系内に膵炎患者が2名以上
 - 若年発症 (単一世代の場合少なくとも1名は40歳以前に発症)
 - 少なくとも1名は膵炎の明らかな原因 (アルコール、胆石、外傷等) を認めない
- 上記3つのすべてを満たす、あるいは
- カチオニクトリプシノーゲン (PRSS1) 遺伝子変異 p.R122H または p.N29I を有する

家族性膵炎

遺伝性膵炎の診断基準を満たさないが、家系内に2人以上の患者がみられる

(_____ 年 _____ 月 _____ 年 _____ 月 最終通院年月 _____ 年 _____ 月
 発症年齢：推定 _____ 歳 確定：急性膵炎 _____ 歳 慢性膵炎 _____ 歳
 発作時症状： 腹痛 (部位： _____) 嘔気 嘔吐 発熱 下痢・軟便 脂肪便
 背部痛 体重減少 糖尿病 その他 (_____)
 発作の誘因： 過食 ストレス 飲酒 特になし その他 (_____)

(C) 膵炎発作の既往歴

今までの入院回数： _____ 回 最終発作年月 _____ 年 _____ 月

(D) 疼痛の程度

- 0：ほとんどなし (鎮痛剤不要)
- 1：軽度 (内服・坐薬 1日1回以下)
- 2：中等度 (内服・坐薬 1日数回)
- 3：高度 (内服・坐薬および注射薬使用)

(E) 膵外分泌機能障害

なし あり 発症年齢 (_____) 歳
 脂肪便の有無 なし あり 下痢の有無 なし あり 回数など
 BT-PABA 試験 (PFD) 未施行 施行 (_____ 年 _____ 月) [結果： _____ % 正常 異常]

(F) 糖尿病

なし あり 発症年齢 (_____) 歳 HbA1c (_____) % (_____ 年 _____ 月)
 糖尿病性網膜症 なし あり 糖尿病性腎症 なし あり 糖尿病性神経症 なし あり

(G) 膵癌

<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 発症年齢 () 歳	膵癌の家族歴 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 関係 (例:父)
膵癌診断契機 ()	診断時 Stage () 治療 <input type="checkbox"/> 切除 <input type="checkbox"/> 非切除
その他の臓器の癌 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 臓器と発症年齢 () 歳	

(H) 画像所見

CT 施行 所見	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 施行年/年齢 (/) 歳
MRI 施行 所見	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 施行年/年齢 (/) 歳
EUS 施行 所見	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 施行年/年齢 (/) 歳

(I) 現在の治療

□薬物療法								
camostat mesilate	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 不明		一日量				mg	
消化酵素剤	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 不明	商品名	一日量				g	
		商品名	一日量				g	
制酸薬 (H2 blocker or PPI)	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 不明	商品名	一日量				mg	
経口血降下薬	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 不明							
		商品名	一日量				mg	
		商品名	一日量				mg	
		商品名	一日量				mg	
インスリン	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	商品名 ()	朝	昼	夕	眠前	単位	
		商品名 ()	朝	昼	夕	眠前	単位	
		商品名 ()	朝	昼	夕	眠前	単位	
鎮痛剤 (腹痛に対して)	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 不明							
NSAIDs	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 常用 <input type="checkbox"/> 頓用 <input type="checkbox"/> 不明	商品名	一日量				mg	
オピロイド	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 常用 <input type="checkbox"/> 頓用 <input type="checkbox"/> 不明	商品名	一日量				mg	
その他	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 常用 <input type="checkbox"/> 頓用 <input type="checkbox"/> 不明	商品名	一日量				mg	
エレンタール	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 不明	(使用量や方法など)						
□外科的 手術回数: 回 手術年/年齢、手術術式など								
□内視鏡治療 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ESWL <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 処置年/年齢、回数、処置内容など								

(J) 就労、通学など

<input type="checkbox"/> 就労可能 <input type="checkbox"/> 就労困難	<input type="checkbox"/> 通学可能 <input type="checkbox"/> 通学困難
---	---

(K) 予後

<input type="checkbox"/> 生存 (最終確認 年 月)	<input type="checkbox"/> 死亡 (歳): 死因 ()
--	--

(L) 遺伝子異常

<input type="checkbox"/> カチオニク トリプシノーゲン (PRSS1)	<input type="checkbox"/> 未検 異常 <input type="checkbox"/> なし/ <input type="checkbox"/> あり (p.R122H p.N29I)
<input type="checkbox"/> SPINK1 (PSTI)	<input type="checkbox"/> 未検 異常 <input type="checkbox"/> なし/ <input type="checkbox"/> あり (p.N34S IVS3+2T>C)
<input type="checkbox"/> その他の膵炎関連遺伝子異常 ()	
東北大での膵炎関連遺伝子解析を希望される場合、お申し付けください (無料)	

(M) 臨床上的の問題点などをご自由に御記載ください

--

記入欄が足りない場合、別紙にご記載をお願いします。御協力有難うございました

平成 27 年 12 月 吉日

アンケートのお願い

拝啓

時下、先生におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

膵疾患に適応がある成分栄養剤（エレンタール）の EBM は少なく、その使用実態は明らかではありません。

そこで、厚生労働省では、厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業『難治性膵疾患に関する調査研究班』—共同研究プロジェクト—として【慢性膵炎の成分栄養剤使用の実態調査】を行なうこととなりました。

同封のアンケート用紙に記載の上、平成 27 年 12 月 20 日までにファックスにて返信いただけますと幸いです。

Fax 送信先；京都府立医科大学 消化器内科 **075-251-0710**

末筆ながら、先生のますますのご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

敬具



厚生労働省科学研究費補助金
難治性疾患等政策研究事業『難治性膵疾患に関する調査研究班』
研究代表者 近畿大学医学部外科肝胆膵部門 教授 竹山宜典
研究分担者 京都府立医科大学消化器内科 特任教授 片岡慶正

アンケートにご協力をお願いします

1. 先生の勤務先は、いずれですか？ にチェックしてください
開業医 病院勤務医 大学勤務医 その他
2. 先生のご専門分野は何ですか？ にチェックしてください（複数回答可）
- | | |
|-----------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 内科系 | <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器科 <input type="checkbox"/> 消化器科 <input type="checkbox"/> 胃腸科
<input type="checkbox"/> 循環器科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 気管食道科 |
| <input type="checkbox"/> 外科系 | <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 形成外科 <input type="checkbox"/> 美容外科
<input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 呼吸器外科 <input type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input type="checkbox"/> 肛門科 |
| <input type="checkbox"/> 小児科系 | <input type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 小児外科 |
| <input type="checkbox"/> 眼科系 | <input type="checkbox"/> 眼科 |
| <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科系 | <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科 |
| <input type="checkbox"/> 皮膚・泌尿器科系 | <input type="checkbox"/> 性病科 <input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> 泌尿器科 <input type="checkbox"/> 皮膚泌尿器科 |
| <input type="checkbox"/> 産婦人科系 | <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 産科 <input type="checkbox"/> 婦人科 |
| <input type="checkbox"/> 精神科系 | <input type="checkbox"/> 精神科 <input type="checkbox"/> 神経科 <input type="checkbox"/> 心療内科 |
| <input type="checkbox"/> 歯科系 | <input type="checkbox"/> 歯科 <input type="checkbox"/> 矯正歯科 <input type="checkbox"/> 小児歯科 <input type="checkbox"/> 歯科口腔外科 |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> リハビリテーション科 <input type="checkbox"/> 放射線科
<input type="checkbox"/> 麻酔科 |
3. 「慢性膵炎診断基準 2009」はご存知ですか？ にチェックしてください
- A. よく理解している B. まあまあ理解している C. あまり理解していない D. 知らない
4. 慢性膵炎を疑われる症状をお持ちの方にどのような検査を実施されていますか？にチェックしてください（複数回答可）
- A. 問診（病歴聴取・身体診察） B. 血液検査（血中・尿中膵酵素） C. 胸・腹部単純X線撮影
D. 画像検査（US、CT、MRI、EUS、ERCP） E. 外分泌機能検査（BT-PABA） F. 内分泌機能検査（血糖値）
G. 血糖自己測定
5. 慢性膵炎と診断された症例のうち、確定例、準確定例、早期慢性膵炎例、疑診例は年間どれくらいおられますか？
- A. 確定（ ）人 B. 準確定（ ）人 C. 早期慢性膵炎（ ）人 D. 疑診（ ）人
E. 合計（ ）人/年
6. 慢性膵炎の代償期で腹痛を有する症例の治療についてお伺いします。
禁酒を中心とした生活指導に併せ、食事療法（脂肪制限）についても指導されていますか？にチェックしてください
- A. しっかりしている B. まあまあしている C. 患者にまかせている D. していない
7. 食事療法（脂肪制限）の指導を行う際、栄養剤は使用されていますか？にチェックしてください
- A. 使用している B. 時々使用している C. 使用したことがある D. 使用していない

8. 問7で栄養剤を使用していると答えられた方にお伺いします。
栄養剤は主にどのようなものを使用されていますか？□にチェックしてください
- 経腸栄養剤（医薬品）
□A. 成分栄養剤（エレンタール） □B. 消化態栄養剤（ツインライン） □C. 半消化栄養剤（エンシュア/ラコール）
- 総合栄養食品及び主要濃厚栄養流動食（食品）
□A. 消化態流動食（ペプチーノ） □B. 半消化態流動食（メイバランス、アイソカル、メディエフ、テルミール、CZH i など） □C. 免疫調整栄養剤（インパクト、アノム、オキシパなど） □D. 糖尿病用栄養剤（ディムス、インスロー、グルセルナなど） □E. オンコロジー用栄養剤（プロシュア） □F. 腎不全用栄養剤（リーナレン、レナジー、アキュア、レナウェルなど） □G. 呼吸不全用栄養剤（プルモケア、ライフロン） □H. 肝不全用栄養剤（ヘパスII） □I. その他（ ）
9. 成分栄養剤「エレンタール」には、膵疾患の適応があることをご存知ですか？ □にチェックしてください
□A. 知っている □B. 知らなかった
10. 慢性膵炎の腹痛に成分栄養剤「エレンタール」はご使用されていますか？ □にチェックしてください
□A. 毎回使用する □B. 時々使用する □C. 使用したことがある □D. 使用したことがない
11. 慢性膵炎の腹痛に成分栄養剤「エレンタール」は有効と思われますか？□にチェックしてください
□A. 大変有用である □B. まあまあ有用である □C. 有用と思わない □D. どちらとも言えない
- 問11で有用（AまたはB）とお考えの先生にお伺いします。（問12～15）
12. 腹痛時のinitial doseとして使用されている内服量は？□にチェックしてください
□A. 2包（160g）以上/日 □B. 2包（160g）/日 □C. 1包（80g）/日 □D. わからない
13. 腹痛時のinitial doseとして使用されている内服の投与方法は？ □にチェックしてください
□A. 食事に併せて服用 □B. 一日数回に分けて服用 □C. 患者に任せている □D. わからない
14. また「エレンタール」の投与期間はどれくらいですか？ □にチェックしてください
□A. 1週間程度 □B. 2週間～4週間 □C. 1ヵ月以上 □D. 3ヵ月以上 □E. その他（ ）
15. 腹痛が軽減したあと「エレンタール」の継続服用は必要と思われますか？ □にチェックしてください
□A. 必要 □B. 必要と思わない □C. わからない □D. その他（ ）

ご協力ありがとうございました。
主任研究者 竹山宜典, 分担研究者 片岡慶正

参 考

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）

難治性瘰疾患に関する調査研究班

研究代表者：竹山宜典

平成 27 年度 研究打ち合わせ会 プログラム

日 時：平成 27 年 6 月 22 日（月） 13：00～17：55

会 場：世界貿易センタービル 8 階

〒105-6108 東京都港区浜松町 2-4-1

TEL 03-5733-4094 / FAX 03-5473-8864

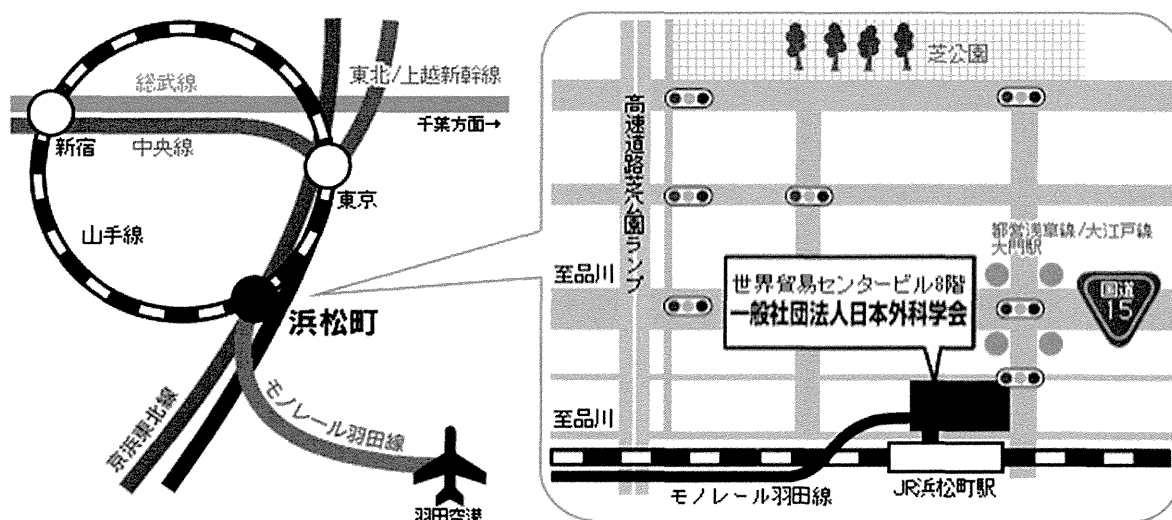
【発表に関するお願い】

1. 発表データは、あらかじめ平成 27 年 6 月 15 日（月）12:00 までに難治性膵疾患に関する調査研究班事務局（nanchi-sui@med.kindai.ac.jp）まで E-mail にてお送りください。
2. PC（Windows に限定）、PowerPoint2010 による、プレゼンテーションのみとします。
3. 発表時間を厳守願います。（発表 4 分、質疑応答 3 分）

【研究分担者の皆様へ】

研究分担者打ち合わせ会は、同室で 11 時 30 分からとなります。ご注意ください。

【会場案内】



◎電車をご利用の場合

- ・ JR（山手線/京浜東北線）・東京モノレール浜松町駅と直結
- ・ 都営地下鉄（浅草線/大江戸線）大門駅と直結（B3 出口）

◎車をご利用の場合（最寄りの首都高速道路出入口）

- ・ 環状線 芝公園ランプ または 汐留ランプ
- ・ 東京高速道路線 新橋ランプ
- ・ 1号羽田線 芝浦ランプ

※駐車場につきまして詳細は <https://www.wtcldg.co.jp/wtcb/parking/index.html> をご覧ください。

◎バスをご利用の場合

- ・ 都営バス 虹 01 系統 浜松町バスターミナル下車

[1] 嚢胞性線維症 13 : 05 ~ 14 : 20 (発表 4 分、質疑 3 分)

1. 嚢胞性線維症の新規承認薬と検査の使用状況の調査

研究分担者 成瀬 達 (みよし市民病院)藤木理代、吉村邦彦、石黒 洋
山本明子、竹山宜典

2. 登録制度を利用した嚢胞性線維症の実態調査

研究分担者 石黒 洋 (名古屋大学総合保健体育科学センター)山本明子、中莖みゆき、成瀬 達
吉村邦彦、神田康司、藤木理代
洪 繁

3. 第 1 回嚢胞性線維症情報交換会

研究分担者 石黒 洋 (名古屋大学総合保健体育科学センター)山本明子、成瀬 達、吉村邦彦
神田康司、藤木理代、竹山宜典

4. 嚢胞性線維症の栄養調査と指針の作成

研究分担者 成瀬 達 (みよし市民病院)藤木理代、吉村邦彦、石黒 洋
北川元二、山本明子、竹山宜典

5. 嚢胞性線維症の肺病変における重症度の評価基準と治療指針の確立

研究分担者 成瀬 達 (みよし市民病院)吉村邦彦、石黒洋

6. 汗試験と便中エラスターゼによる嚢胞性線維症の診療指針

研究分担者 成瀬 達 (みよし市民病院)近藤啓彰、近藤志保、石黒 洋
山本明子、中莖みゆき、藤木理代
吉村邦彦、竹山宜典

7. 「嚢胞性線維症の診療の手引き」の改訂

研究分担者 成瀬 達（みよし市民病院）

石黒 洋、山本明子、中莖みゆき
藤木理代、吉村邦彦、洪 繁、
相馬義郎、竹山宜典

8. 第5回嚢胞性線維症の全国疫学調査

研究分担者 石黒 洋（名古屋大学総合保健体育科学センター）

山本明子、成瀬 達、吉村邦彦
神田康司、竹山宜典

9. 嚢胞性線維症患者家族の哮喘の罹患状況調査

研究分担者 成瀬 達（みよし市民病院）

石黒 洋、山本明子、中莖みゆき
藤木理代、吉村邦彦、竹山宜典

10. 嚢胞性線維症患者の就学状況調査

研究分担者 成瀬 達（みよし市民病院）

石黒 洋、山本明子、中莖みゆき
藤木理代、吉村邦彦、竹山宜典

11. アジア型変異 CFTR の発現と機能の解析

研究分担者 石黒 洋（名古屋大学総合保健体育科学センター）

相馬義郎、余 盈君、山本明子
中莖みゆき、洪 繁、吉村邦彦
藤木理代、神田康司、成瀬 達

[2] 自己免疫性膵炎 14:20 ~ 14:45 (発表4分、質疑3分)

12. 自己免疫性膵炎の診療ガイドラインの改訂

研究分担者 岡崎和一 (関西医科大学内科学第三講座)

内田一茂、新倉則和、糸井隆夫
伊藤鉄英、乾 和郎、入澤篤志
植木敏晴、大原弘隆、神澤輝実
川 茂幸、菅野 敦、塩見英之
窪田賢輔、洪 繁、阪上順一
清水京子、杉山政則、全 陽
多田 稔、中沢貴宏、西野隆義
西野博一、西森 功、能登原憲司
浜野英明、平野賢二、廣岡芳樹
正宗 淳、増田充弘、水野伸匡
山口幸二、吉田 仁、久津見弘
柳川雅人、池宗真美、光山俊行

13. 自己免疫性膵炎における最適治療法の確立

研究分担者 神澤輝実 (東京都立駒込病院内科)

岡崎和一、川 茂幸、菅野 敦
大原弘隆、久津見弘、正宗 淳
窪田賢輔

14. 自己免疫性膵炎の前向き調査

研究分担者 正宗 淳 (東北大学大学院消化器病態学分野)

岡崎和一、神澤輝実、川 茂幸
能登原憲司、伊藤鉄英、児玉裕三
阪上順一、清水京子、菅野 敦
菊田和宏、下瀬川徹

休憩 14:45 ~ 14:50

事務局からの連絡 14:50 ~ 14:55

[3] 慢性膵炎 14:55 ~ 16:35 (発表4分、質疑3分)

15. 慢性膵炎に対する外科治療の実態調査と普及への課題解析

研究分担者 伊佐地秀司 (三重大学大学院肝胆膵・移植外科学)

佐田尚宏 (自治医科大学消化器・一般外科)

小泉 大、亀井敬子、松本逸平
北野雅之、三長孝輔、安積良紀
飯澤祐介、竹山宜典

16. 慢性膵炎疼痛対策としての内視鏡治療と外科治療の比較解析

研究分担者 乾 和郎 (藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院消化器内科)

北野雅之 (近畿大学医学部消化器内科)

宮田 剛、三長孝輔、伊佐地秀司
糸井隆夫、大原弘隆、菅野 敦
阪上順一、佐田尚宏、亀井敬子
松本逸平、竹山宜典

17. 早期慢性膵炎診断法の妥当性の検証

研究分担者 伊藤鉄英 (九州大学医学研究院病態制御内科学)

河邊 顕、五十嵐久人、竹山宜典
ワーキンググループ委員

18. 膵性糖尿病の実態調査と治療指針の作成

研究分担者 伊藤鉄英 (九州大学医学研究院病態制御内科学)

池上博司、五十嵐久人、河邊 顕
丹藤雄介、阪上順一、川畑由美子
北川元二、竹山宜典

19. 膵性糖尿病の実態調査と治療指針の作成：膵切除後糖尿病の病態と治療

研究分担者 池上博司 (近畿大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科)

伊藤鉄英、川畑由美子、廣峰義久
亀井敬子、松本逸平、竹山宜典

20. 慢性膵炎の生活習慣対策指針の作成と患者団体連携支援

研究分担者 伊藤鉄英（九州大学医学研究院病態制御内科学）

北野雅之、正宗 淳、河邊 顕
五十嵐久人、植田圭二郎、藤山 隆
丹藤雄介、片岡慶正、大西洋英
竹山宜典

21. 膵石症に対する治療の全国実態調査

研究分担者 乾 和郎（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院消化器内科）

杉山政則、田妻 進、五十嵐良典
大原弘隆、正宗 淳、鈴木 裕
三好広尚、山本智支、竹山宜典

22. 早期慢性膵炎の前向き予後調査

研究分担者 正宗 淳（東北大学大学院消化器病態学分野）
伊藤鉄英（九州大学医学研究院病態制御内科学）

入澤篤志、花田敬士、北野雅之
伊佐山浩通、児玉裕三、田口雅史
阪上順一、菊田和宏、清水京子
乾 和郎、大原弘隆、下瀬川徹
五十嵐久人、植田圭二郎、藤山 隆
吉田 仁、岡崎和一、竹山宜典

23. 慢性膵炎発症の遺伝的背景に関する解析

研究分担者 正宗 淳（東北大学大学院消化器病態学分野）

伊佐山浩通、乾 和郎、入澤篤志
阪上順一、田妻 進、能登原憲司
清水京子、濱田 晋、糸 潔
中野絵里子、下瀬川徹

24. 遺伝性膵炎の症例登録システムの構築

研究分担者 正宗 淳（東北大学大学院消化器病態学分野）

菊田和宏、濱田 晋、下瀬川徹

25. 遺伝性膵炎・家族性膵炎の全国調査

研究分担者 正宗 淳 (東北大学大学院消化器病態学分野)

菊田和宏、阪上順一、下瀬川徹
乾 和郎、北野雅之、田妻 進
濱田 晋、竹山宜典

26. 早期慢性膵炎の全国調査

研究分担者 正宗 淳 (東北大学大学院消化器病態学分野)

伊藤鉄英、北野雅之、安藤 朗
田口雅史、入澤篤志、阪上順一
伊佐山浩通、花田敬士、菊田和宏
大原弘隆、廣田衛久、下瀬川徹
清水京子、糸井隆夫、乾 和郎
宮川宏之、岡崎和一、神澤輝実
竹山宜典

27. 慢性膵炎各病期における栄養指針の作成

研究分担者 清水京子 (東京女子医科大学消化器内科)

丹藤雄介、阪上順一、安藤 朗
五十嵐久人

28. 慢性膵炎疼痛対策としての経腸栄養療法の標準化と普及啓発

研究分担者 片岡慶正 (大津市民病院、京都府立医科大学消化器内科学)

阪上順一、伊藤鉄英、岡崎和一
正宗淳、清水京子、保田宏明
十亀義生、加藤隆介、三宅隼人
土井俊文、竹山宜典

休憩

16 : 35 ~ 16 : 40

[4] 急性膵炎 16:40 ~ 17:50 (発表4分、質疑3分)

29. 膵炎局所合併症に対する治療の実態調査

研究分担者 佐田尚宏 (自治医科大学消化器・一般外科)

黒河内颯、笹沼英紀、小泉 大
廣田衛久、糸井隆夫、安田一朗
伊佐地秀司、松本逸平、北野雅之
竹山宜典

30. 急性膵炎治療の診療科間・施設間差異の実態調査

研究分担者 伊佐地秀司 (三重大学大学院肝胆膵・移植外科学)

真弓俊彦 (産業医科大学医学部救急医学)

横江正道、村田篤彦、堀部昌靖
安積良紀、飯澤祐介

31. 急性膵炎初期診療コンセンサスの改訂

研究分担者 伊藤鉄英 (九州大学医学研究院病態制御内科学)

北川元二、武田和憲、河邊 颯
五十嵐久人、真弓俊彦、竹山宜典

32. 急性膵炎早期の膵虚血に関する perfusion CT による実態調査

研究分担者 武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)

伊藤鉄英、乾 和郎、桐山勢生
阪上順一、佐田尚宏、辻 喜久
廣田衛久、吉田 仁、竹山宜典

33. 急性膵炎重症度判定基準の見直し

研究分担者 杉山政則 (杏林大学医学部外科)

武田和憲 (国立病院機構仙台医療センター外科)

西野博一、木村憲治、鈴木 裕
中里徹矢、竹山宜典

34. 重症急性膵炎診療の国際比較

研究分担者 杉山政則（杏林大学医学部外科）

鈴木 裕、中里徹矢、西野博一

35. ERCP 後膵炎の診断基準の確立・検証とその啓発

研究分担者 峯 徹哉（東海大学消化器内科）

明石隆吉、伊藤鉄英、川口義明
菅野 敦、木田光広、花田敬士
宮川宏之、山口武人、森實敏夫
竹山宜典

36. 急性膵炎治療のチーム医療モデルの確立

研究分担者 北野雅之（近畿大学医学部消化器内科）

門阪薫平、大本俊介、片岡慶正
佐田尚宏、平出 敦、古屋智規
辻 喜久、真弓俊彦、竹山宜典

37. 急性膵炎診療における地域連携モデルの構築

研究分担者 北野雅之（近畿大学医学部消化器内科）
杉山政則（杏林大学医学部外科）

門阪薫平、大本俊介、西野博一
片岡慶正、佐田尚宏、平出 敦
古屋智規、辻 喜久、真弓俊彦
竹山宜典

38. DPC データを用いた膵炎診療の実態調査

研究分担者 真弓俊彦（産業医科大学医学部救急医学）

横江正道、村田篤彦、堀部昌靖
村松圭司、松田晋哉、伏見清秀

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）

難治性膝疾患に関する調査研究

平成27年度 総括・分担研究報告書

平成28年3月24日 印刷・発行

発行者 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業
（難治性疾患政策研究事業）

難治性膝疾患に関する調査研究

研究代表者 竹山 宜典

大阪狭山市大野東377-2

近畿大学医学部外科肝胆膵部門

TEL：072-366-0221

製作・印刷 ホウユウ株式会社

大阪府堺市堺区海山町1-8-4

TEL：072-227-8231

